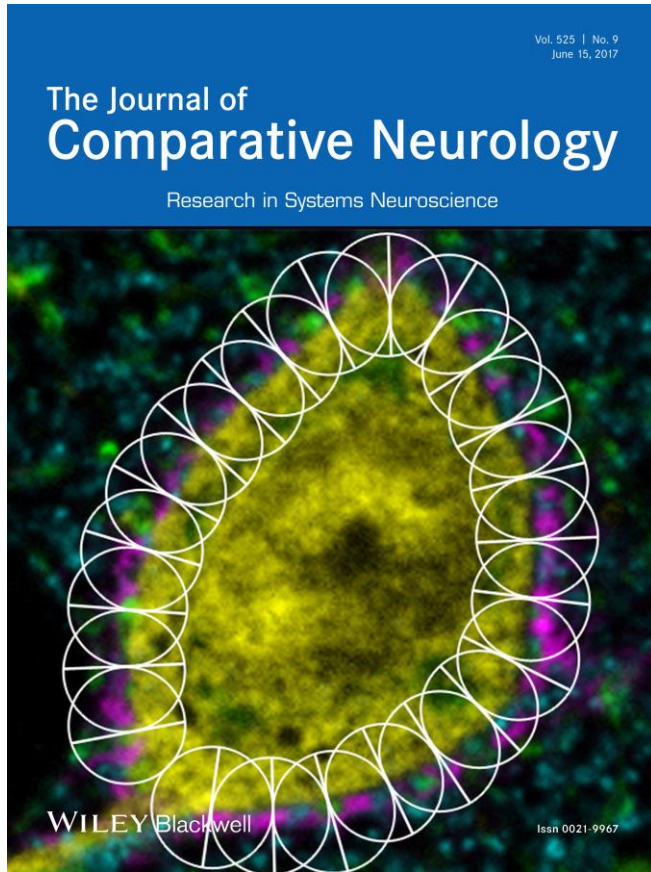


# 第11回茨城大学農医連携セミナー これからの海馬と精神疾患研究



藤川理沙子先生  
九州大学大学院

医学研究科神経解剖学分野

日時:9月6日(木)16:00～  
場所:茨城大学農学部  
第一会議室

◀ シナプスとグリア細胞のコン  
タクトを評価するライン解析  
(Yamada et al., J Comp  
Neurol, 2017)

海馬は従来から記憶や情動の中枢として知られてきました。一方で近年、海馬のニューロンやグリアの異常が様々な精神疾患の病態基盤でもある可能性に注目が集まっています。本セミナーでは、留学先のカナダで実験を行った「海馬神経新生のトラウマ記憶忘却効果とその機序」に関する研究を紹介します。さらに、九州大学で新たに実験に取り組んでいる「社会的敗北ストレスモデルマウスを用いたミクログリア研究」について、当研究室で独自にプログラム開発に取り組んでいる画像解析システムを用いたプロジェクトの概要を紹介し、今後の海馬と精神疾患研究の展望について議論する予定です。



(世話人) 豊田 淳 内線8584